

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

海陽町教育委員会

1. 調査の概要

(1) 実施日 令和5年4月18日(火)

(2) 調査方式 悉皆調査

(3) 調査対象 小学校第6学年の児童、中学校第3学年の生徒

(4) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(5) 調査内容

【児童生徒に対する調査】

ア. 教科に関する調査

①小学校調査 国語、算数

②中学校調査 国語、数学、英語、英語(話すこと)

※以下のaとbを一体的に問う問題が出題されている

a 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

b 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ. 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

【学校に対する調査】

ア. 質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や教育条件の整備状況等に関する内容

(6) 本町の実施状況

ア. 実施学校数 5校(小学校3校、中学校2校)

イ. 実施児童生徒数 (小学校6年生44人、中学校3年生50人)

2. 学力調査結果から

(1) 小学校国語

①定着が見られるもの

○原因と結果など情報と情報との関係について理解している

○目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる

○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる

- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと
の中心を捉えることができる
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考
えをまとめることができる
- 日常よく使われる敬語を理解している
- ②課題が見られるもの
 - 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する
ことができる

(2) 小学校算数

- ①定着が見られるもの
 - 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知
りたい数を求めることができる
 - () を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取るこ
とができる
 - 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることがで
きる
 - 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだし
た違いを言葉と数を用いて記述できる
 - 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる
- ②課題が見られるもの
 - 台形の意味や性質について理解している
 - 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、
その理由を言葉や数を用いて記述できる
 - (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考え
ることができる
 - 百分率で表された割合について理解している
 - 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる

(3) 中学校国語

- ①定着が見られるもの
 - 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができる
 - 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握する
ことができる
 - 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり
深めたりすることができる
 - 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる
- ②課題が見られるもの
 - 目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる
 - 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している

- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる
- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる

(4) 中学校数学

- ①定着が見られるもの
 - 数と整式の乗法の計算ができる
 - 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる
 - 四分位範囲の意味を理解している
- ②課題が見られるもの
 - 自然数の意味を理解している
 - 累積度数の意味を理解している
 - 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる
 - 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる

(5) 中学校英語

- ①定着が見られるもの
 - 情報を正確に聞き取ることができる
 - 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる
 - 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる
 - 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができる
- ②課題が見られるもの
 - 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる
 - 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができる

3. 児童生徒質問紙の結果から

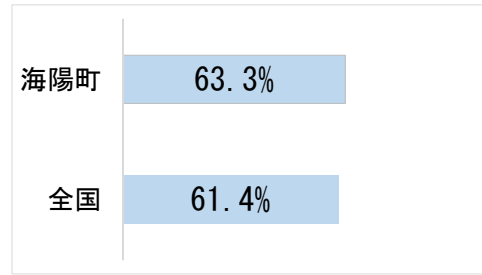
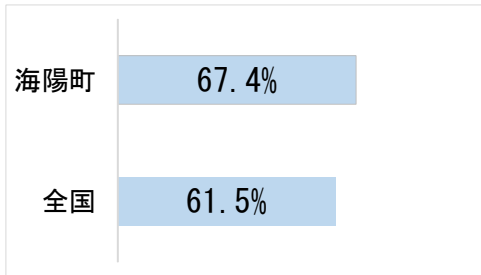
(1) 学習に対する関心・意欲・態度

ア 国語

※回答は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」を合算した値

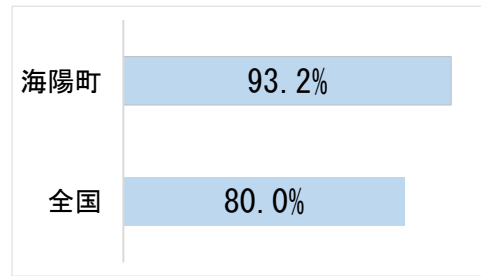
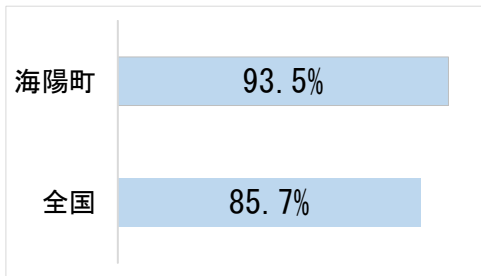
◆勉強は好きで、授業の内容もよく分かった割合は、小・中学生共に全国値と比べて高い。

- ①国語の勉強は好きですか。(小学校)
- ①国語の勉強は好きですか。(中学校)



②国語の授業の内容はよく分かり
ますか（小学校）

②国語の授業の内容はよく分かり
ますか（中学校）



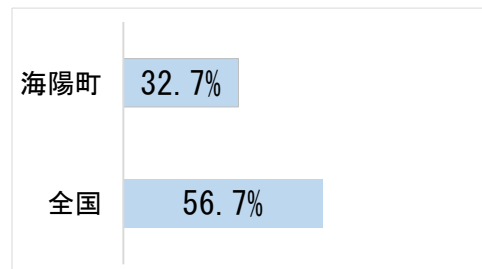
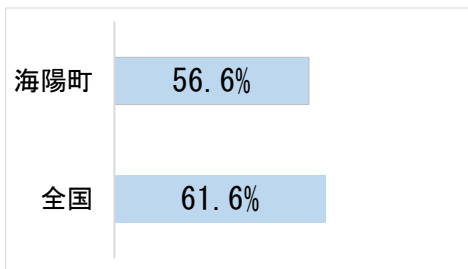
イ 算数・数学

※回答は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」を合算した値

◆授業の内容はよく分かる」と答えた小学生の割合は、全国値と比べて高い。

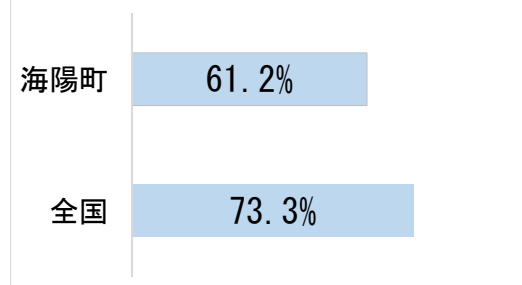
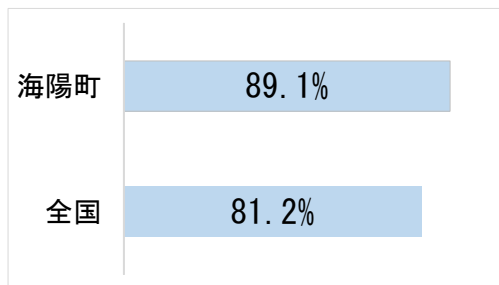
①算数の勉強は好きですか。（小学校）

①数学の勉強は好きですか。（中学校）



②算数の授業の内容はよく分かり
ますか（小学校）

②数学の授業の内容はよく分かり
ますか（中学校）

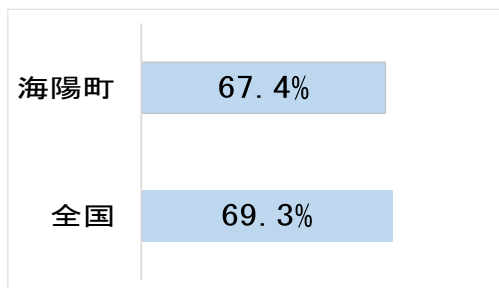


ウ 英語

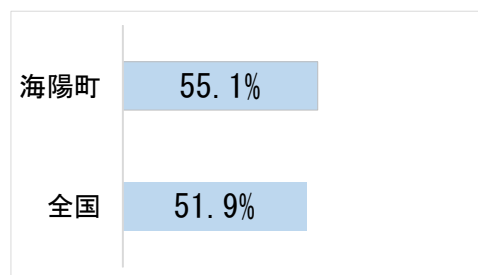
※回答は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」を合算した値

◆勉強は好きで、授業の内容もよく分かったと答えた中学生の割合は、全国値と比べて高い。

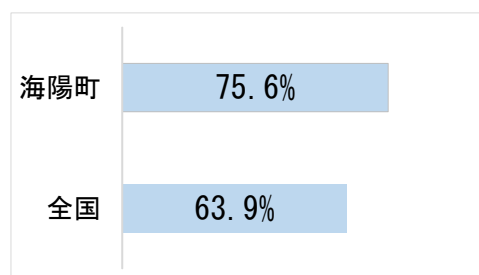
①英語の勉強は好きですか。(小学校)



①英語の勉強は好きですか。(中学校)



③英語の授業の内容はよく分かりますか(中学校)

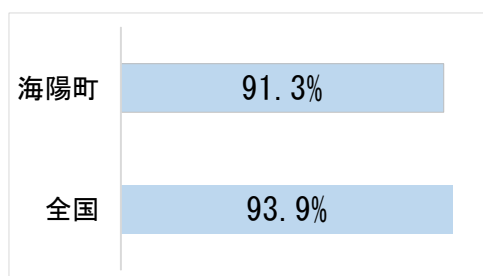


(2) 生活習慣

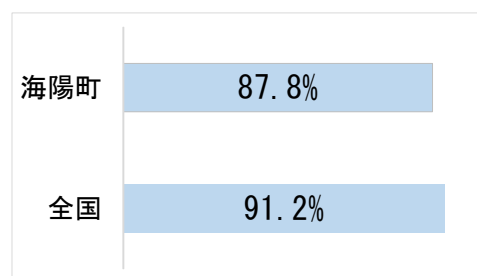
※回答は「している、どちらかといえばしている」を合算した値

◆朝食を毎日食べていると答えた割合は、小・中学生共に全国値と比べて低い。
◆毎日、同じくらいの時刻に起きていると答えた中学生の割合は、全国値と比べて高い。

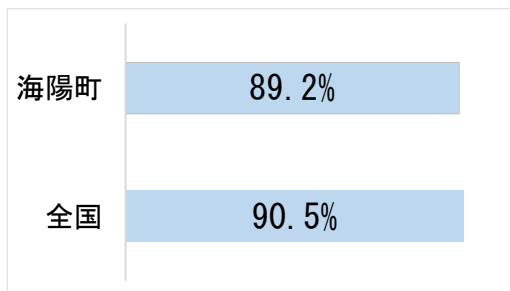
①朝食を毎日食べていますか(小学校)



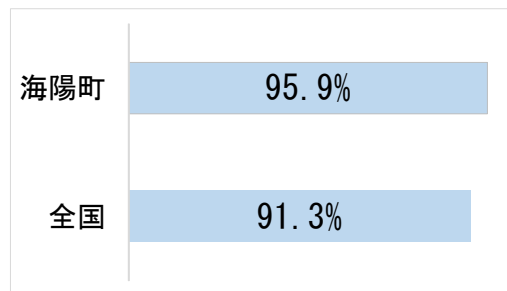
①朝食を毎日食べていますか(中学校)



②毎日、同じくらいの時刻に起きて
いますか（小学校）



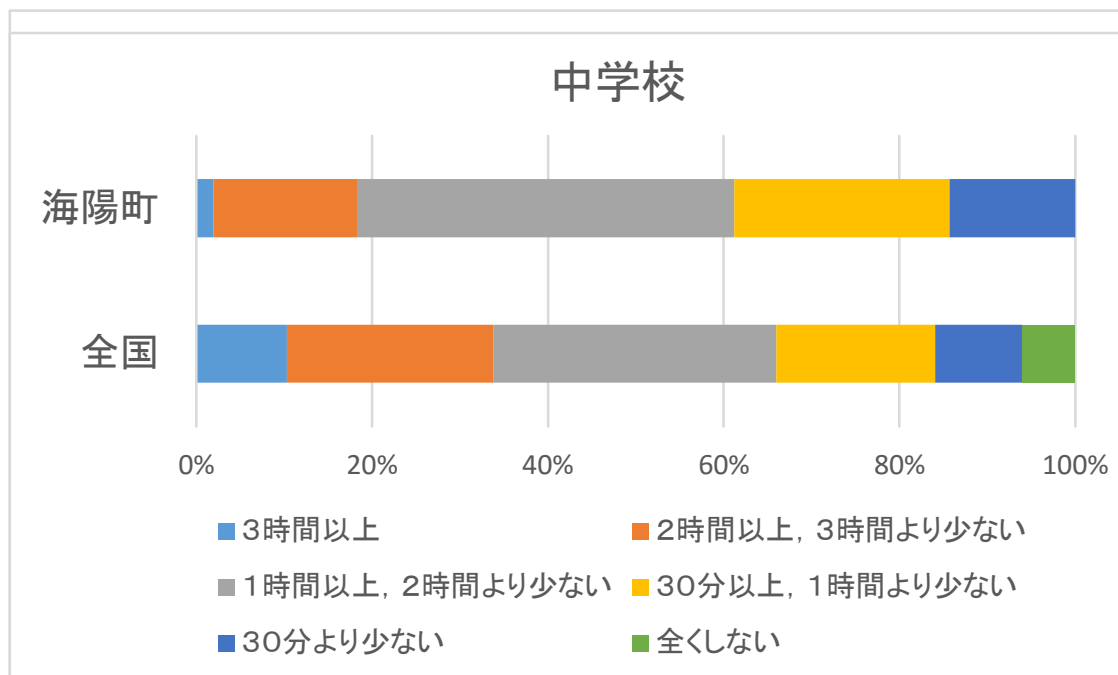
②毎日、同じくらいの時刻に起きて
いますか（中学校）



(3) 学習習慣・学習環境

- ◆ 1時間以上勉強すると答えた小学生の割合は全国値とほぼ同じである。
- ◆ 2時間以上勉強すると答えた中学生の割合は全国値と比べて15.4ポイント低い。

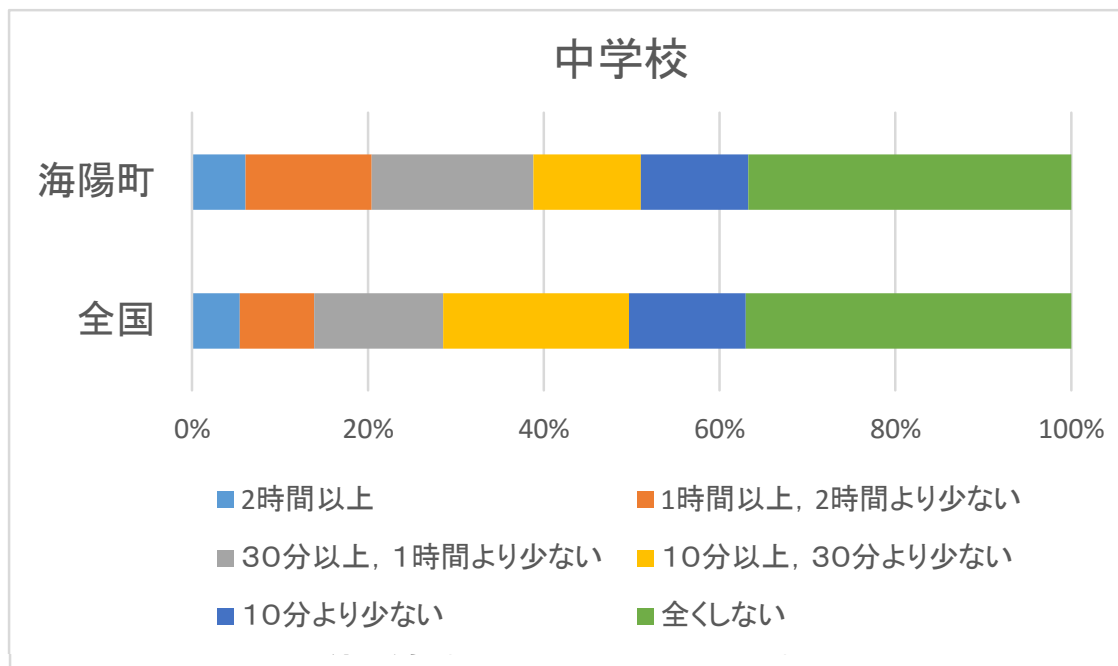
①学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



(4) 読書習慣

- ◆ 1時間以上読書すると答えた小学生の割合は全国値より9.8ポイント低い。全くしないと答えた小学生の割合は全国値と比べて13.6ポイント低い。
- ◆ 1時間以上読書すると答えた中学生の割合は全国値と比べて6.6ポイント高い。全くしないと答えた中学生は36.8%いた。

①学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

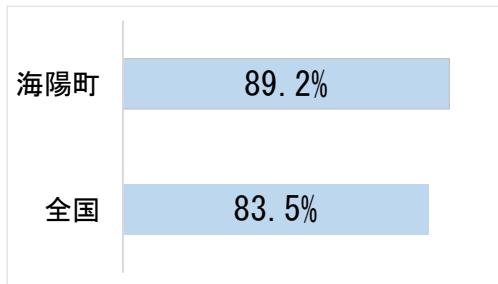


(5) 規範意識・自己有用感・幸福感等

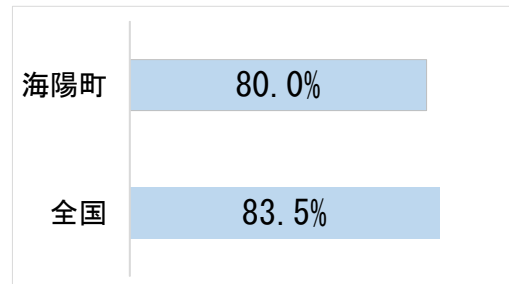
※回答は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」を合算した値

- ◆自分には、よいところがあると答えた小学生の割合は、全国値と比べて5.7ポイント高い。中学生は、3.5ポイント低い。
- ◆先生は、あなたのよいところを認めてくれていると答えた割合は、小・中学生共に全国値と比べて高い。
- ◆将来の夢や目標を持っていると答えた小学生の割合は、全国値と比べやや高い。中学生の割合は、全国値と比べて5ポイント低い。
- ◆人が困っているときは、進んで助けると答えた割合は小・中学生共に高い。
- ◆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと答えた割合は小中学生共に高い。小学生は100%であった
- ◆学校に行くのは楽しと答えた小学生の割合は、全国値より高い。
- ◆友達関係に満足していると答えた割合は、小中学生共に全国値より低い。(小学生は、3.4ポイント、中学生は、11.1ポイント低い)
- ◆普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある、時々あると答えた割合は、小学生が全国値に比べて2.4ポイント高く、中学生は、1.1ポイント低い。

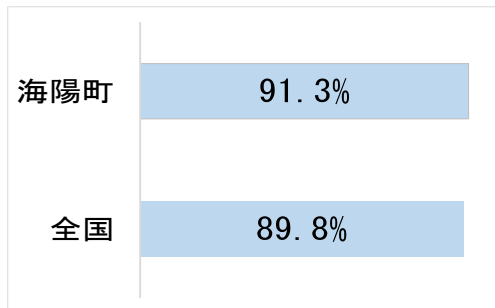
①自分には、よいところがあると
思いますか（小学校）



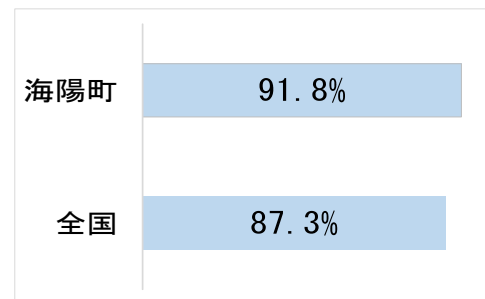
①自分には、よいところがあると
思いますか（中学校）



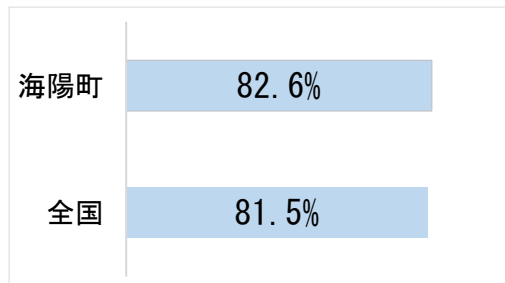
②先生は、あなたのよいところを認
めてくれていると思いますか（小学校）



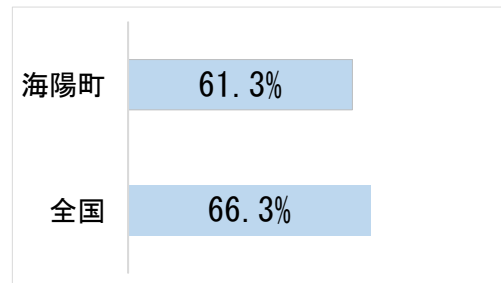
②先生は、あなたのよいところを認
めてくれていると思いますか（中学校）



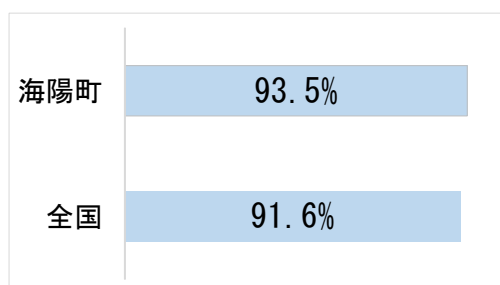
③将来の夢や目標を持っています
か（小学校）



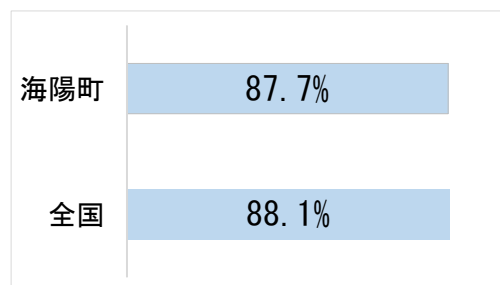
③将来の夢や目標を持っています
か（中学校）



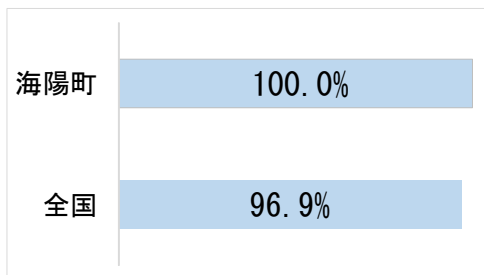
④人が困っているときは、進んで
助けますか（小学校）



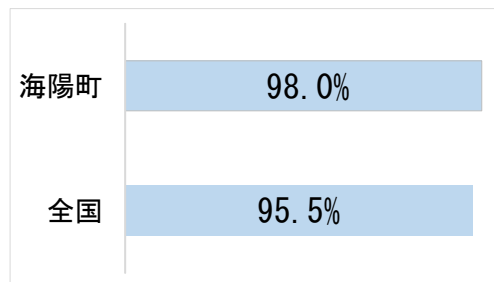
④人が困っているときは、進んで
助けますか（中学校）



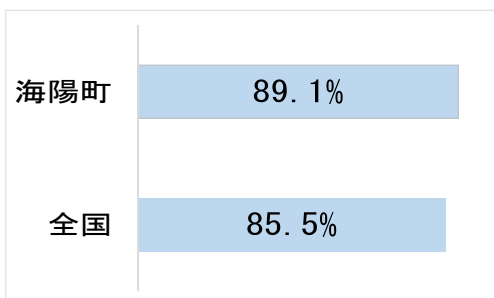
⑤いじめは、どんな理由があっても
いけないことだと思いますか（小学校）



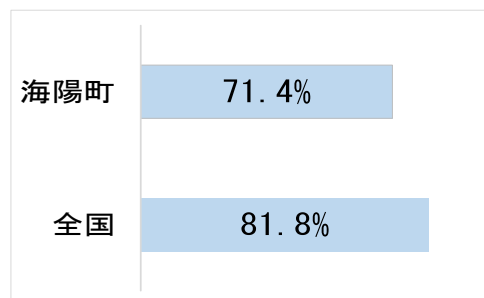
⑤いじめは、どんな理由があっても
いけないことだと思いますか（中学校）



⑥学校に行くのは楽しいですか（小学校）

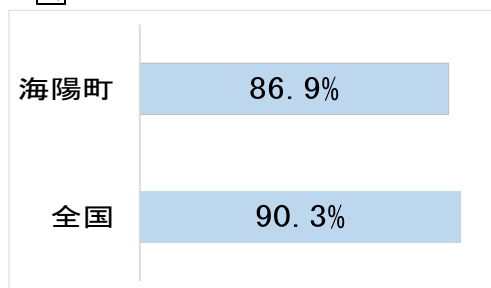


⑥学校に行くのは楽しいですか（中学校）



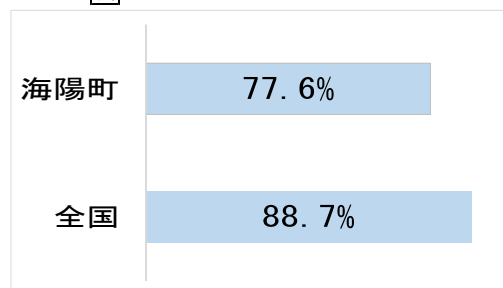
⑦友達関係に満足していますか（小学校）

新



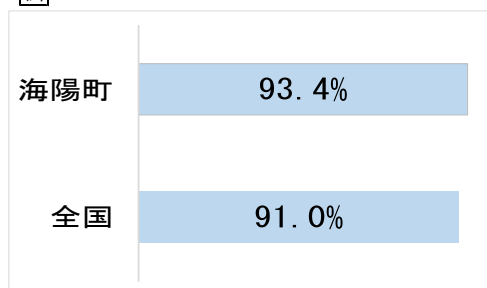
⑦友達関係に満足していますか（中学校）

新



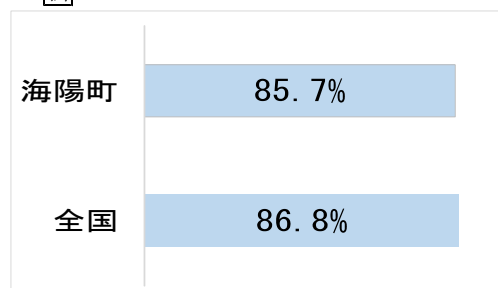
⑧普段の生活の中で、幸せな気持ちになる
ことはどれくらいありますか（小学校）

新



⑧普段の生活の中で、幸せな気持ちになる
ことはどれくらいありますか（中学校）

新

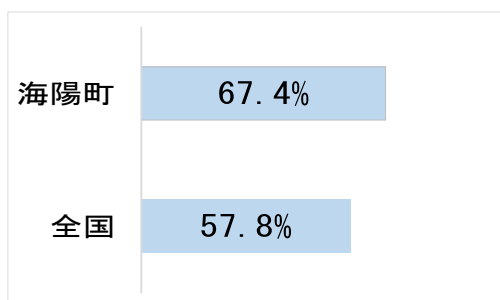


(6) 地域活動への参加状況

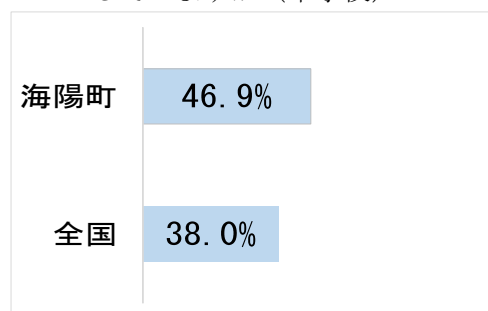
※回答は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」を合算した値

- ◆今住んでいる地域の行事に参加していると答えた割合は小中学生共に全国値と比べて高い。小学生の方が参加率が高い。
- ◆ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと答えた割合は小中学生共に全国値と比べて高い。

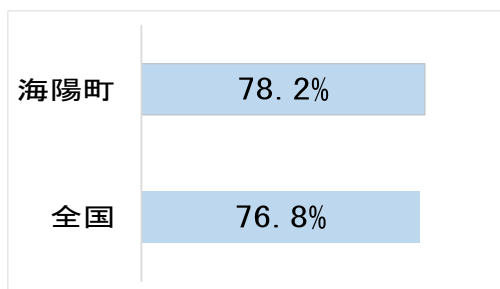
①今住んでいる地域の行事に参加していますか（小学校）



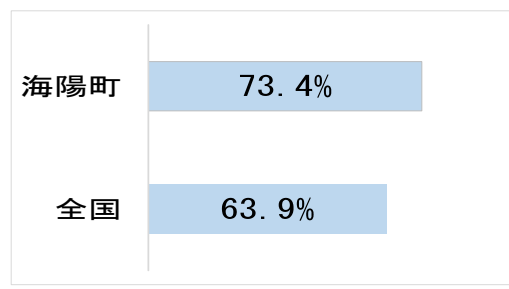
①今住んでいる地域の行事に参加していますか（中学校）



②地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（小学校） 新



②地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（中学校） 新

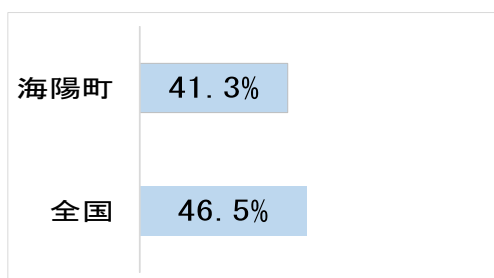


(7) 授業外における英語学習の取り組み

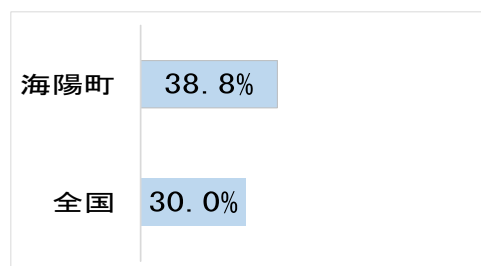
※回答は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」を合算した値

- ◆日常的に英語を使う機会が十分にあったと答えた中学生の割合は、全国値と比べて高い。

①これまで学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（小学校）



①これまで学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（中学校）

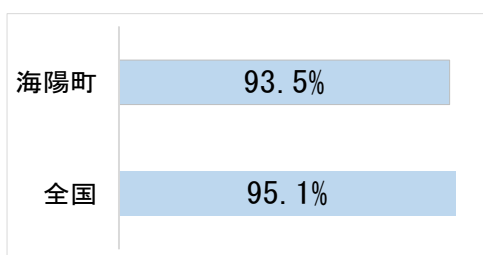


(8) ICT機器の活用

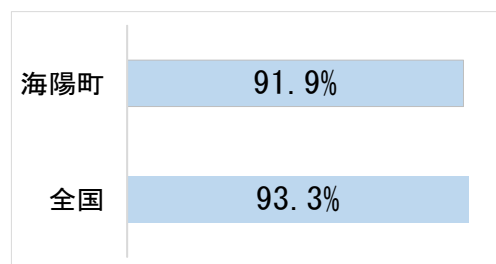
※回答は「役に立つ、どちらかといえば役に立つ」を合算した値

◆学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思っている割合は小・中学生共に高い。

①学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか（小学校）



①学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか（中学校）



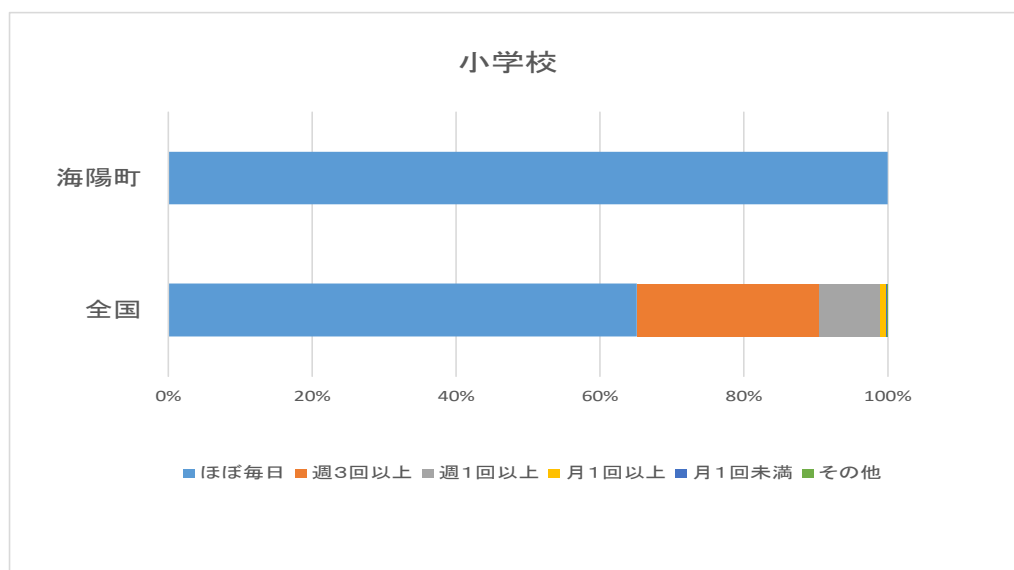
4. 学校質問紙の結果から

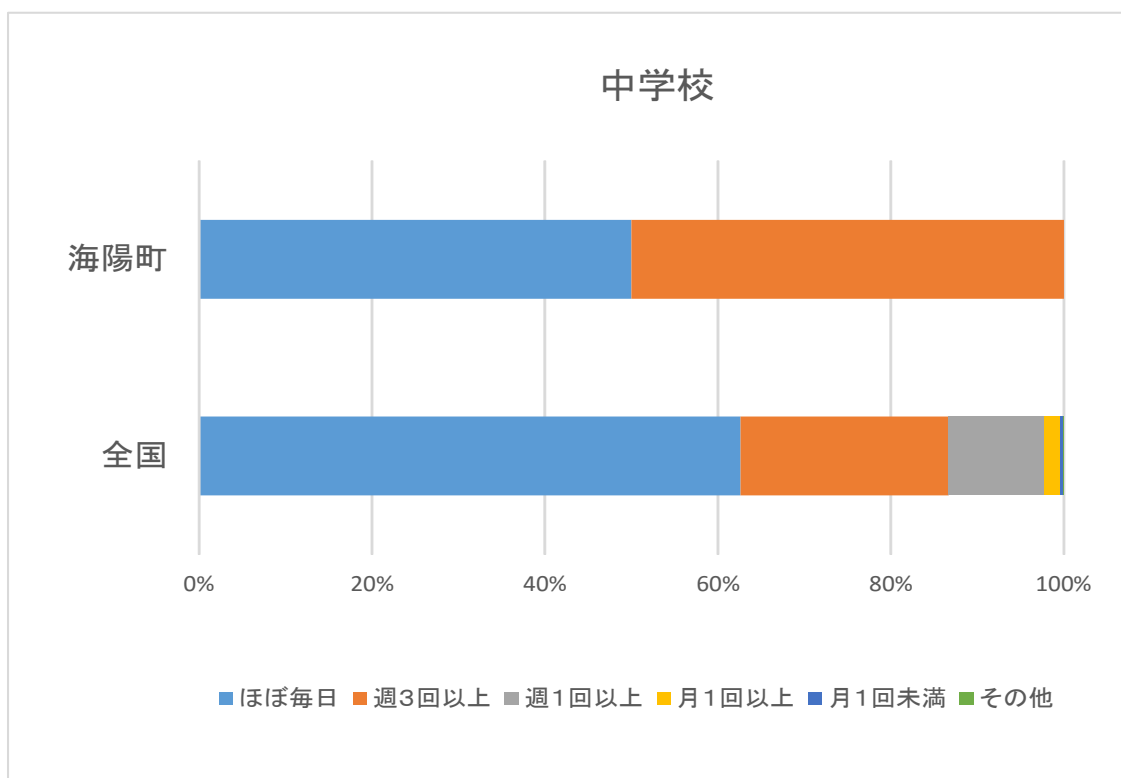
(1) ICT機器の活用状況

※回答は「ほぼ毎日」と答えた値

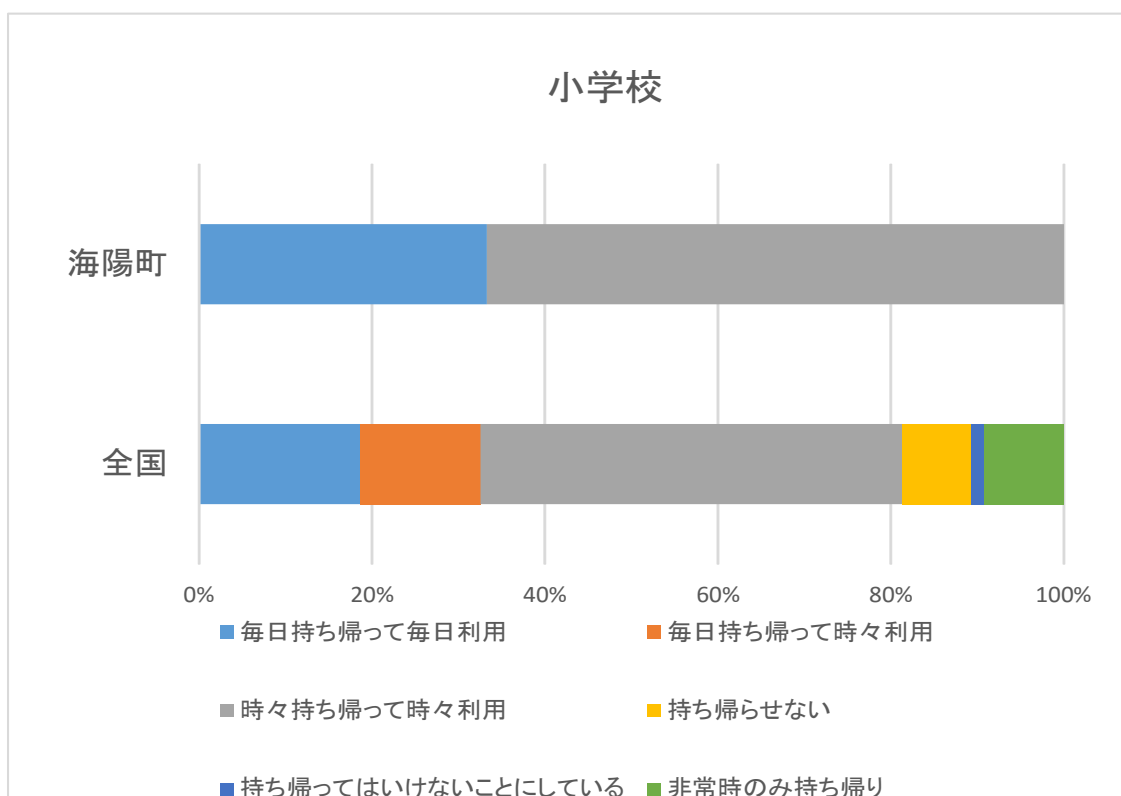
◆小学校5年生までに、ICT機器をほぼ毎日授業で使用したと割合は100%である。中学校は、1校が毎日、もう1校は週3回以上使用している。
◆小学校1校は毎日持ち帰り、毎日使用している。

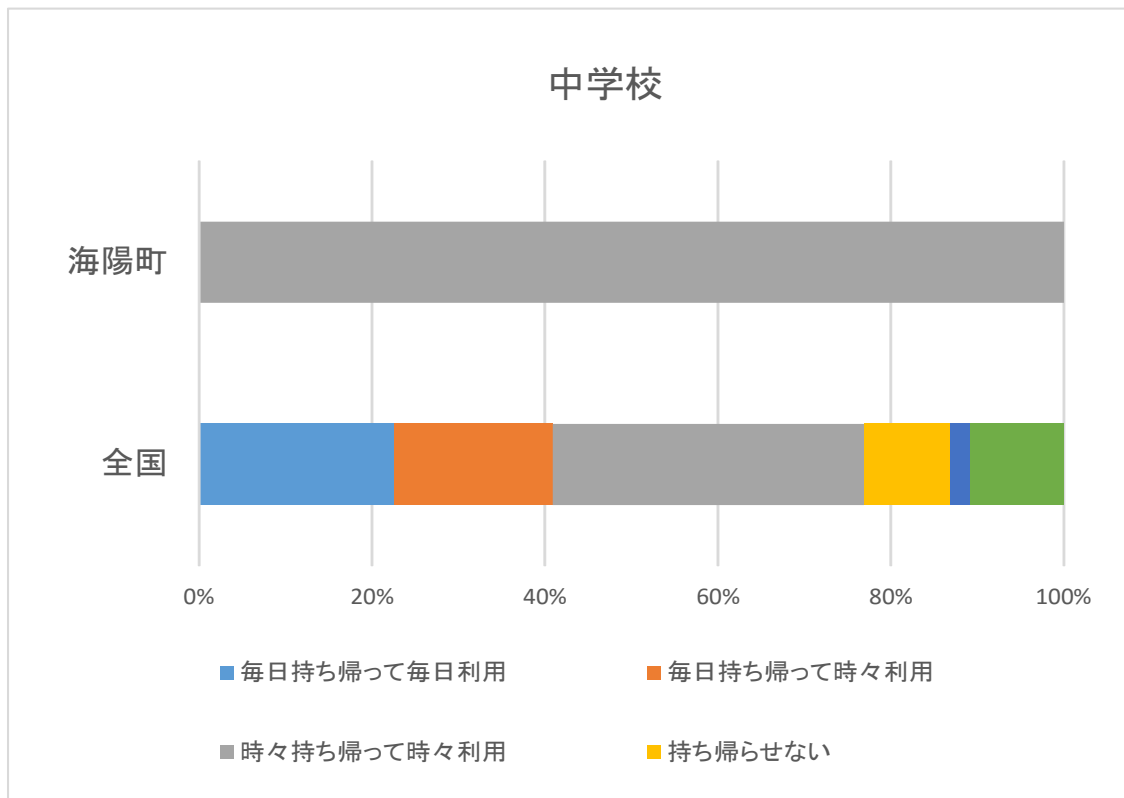
①調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業でどの程度活用しましたか





②児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか



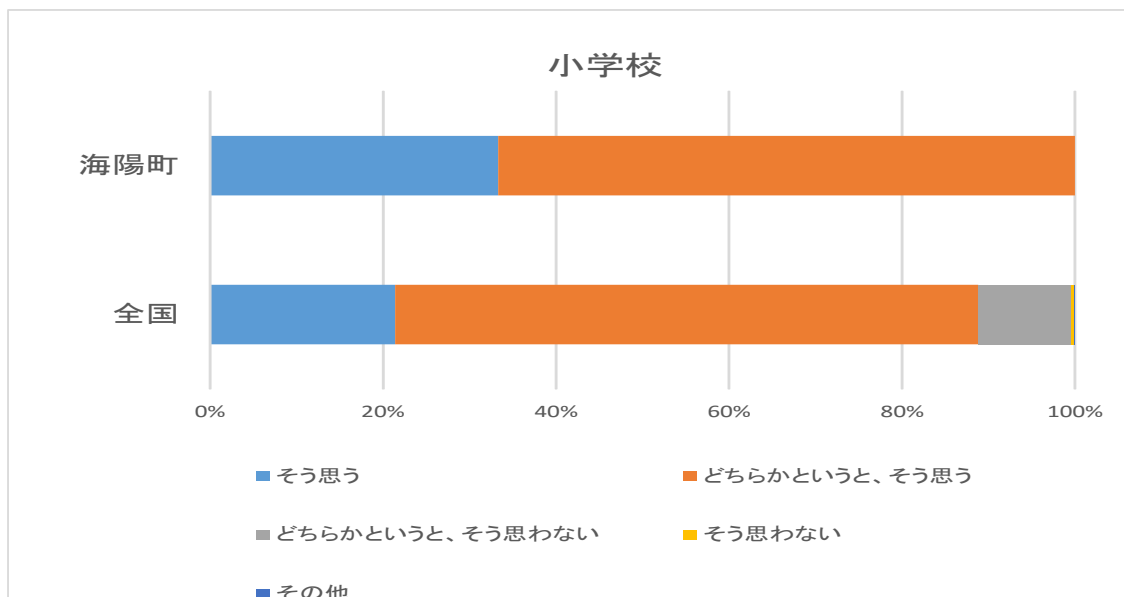


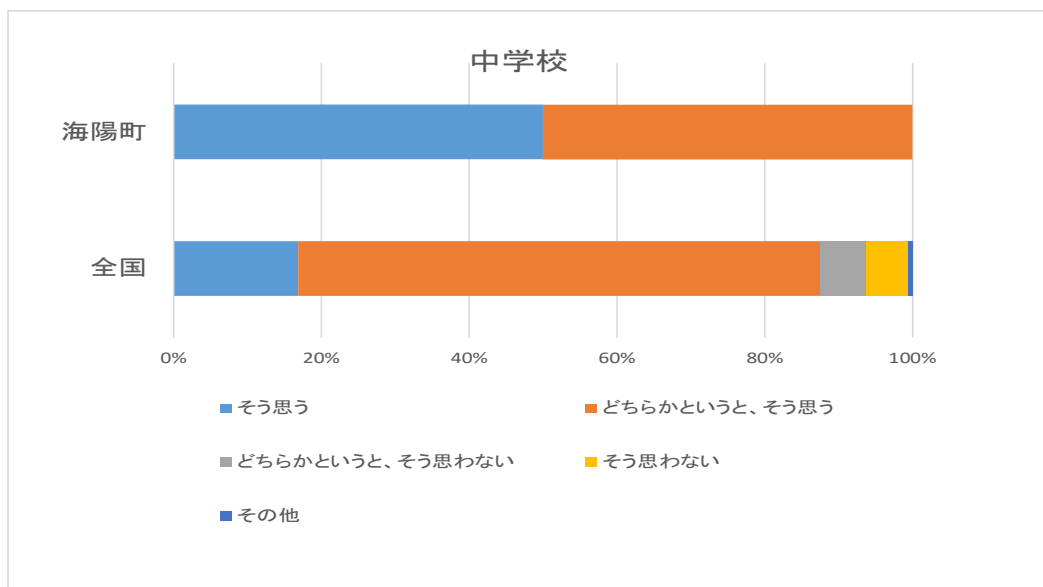
(2) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

①主体的・対話的で深い学びに関する状況

◆小中学校共に授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

ア 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

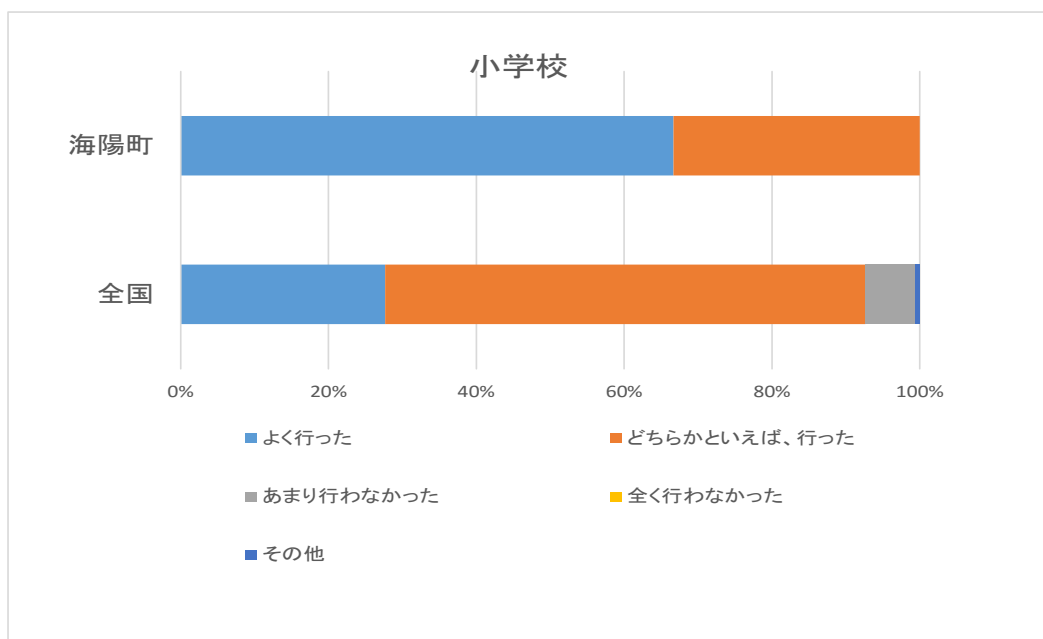


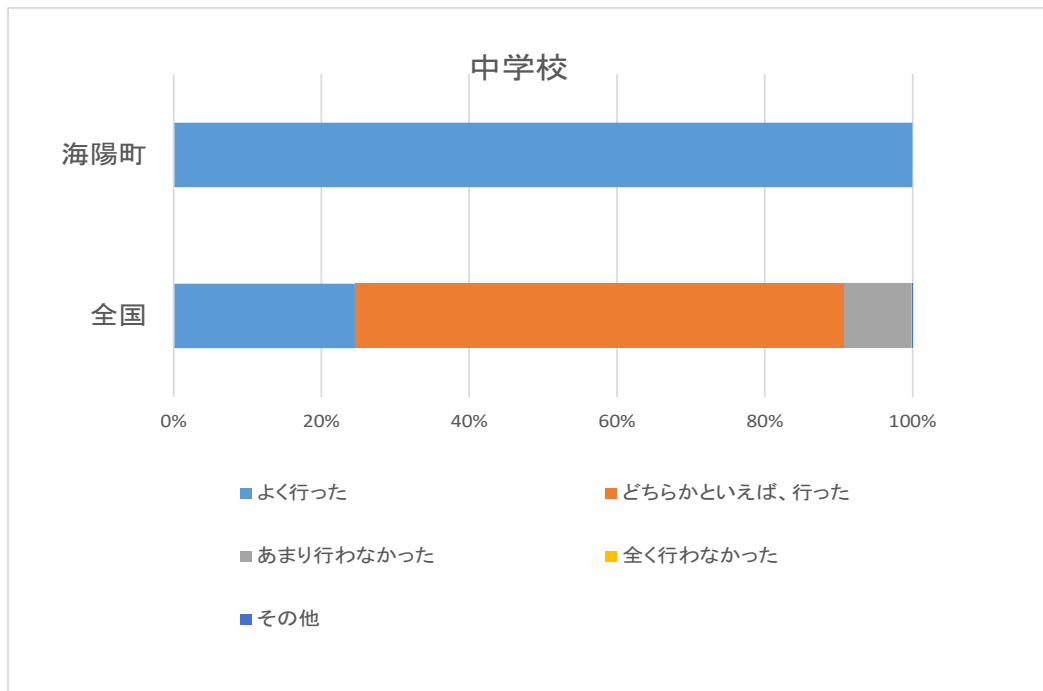


②個別最適な学びに関する状況

◆小中学校共に学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫している

ア 前年度までに、学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

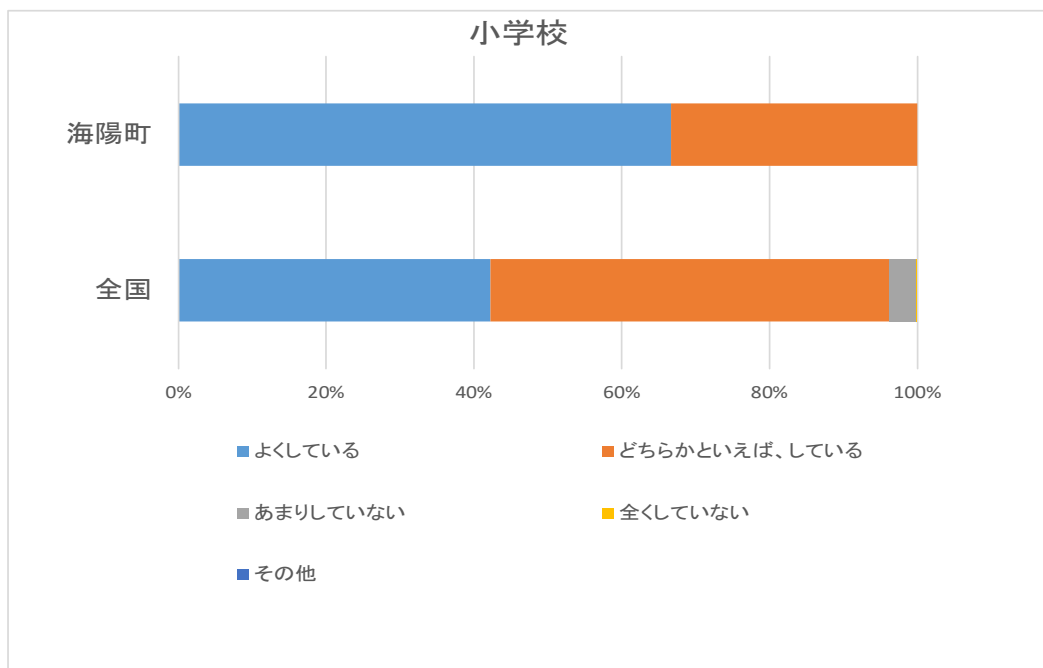


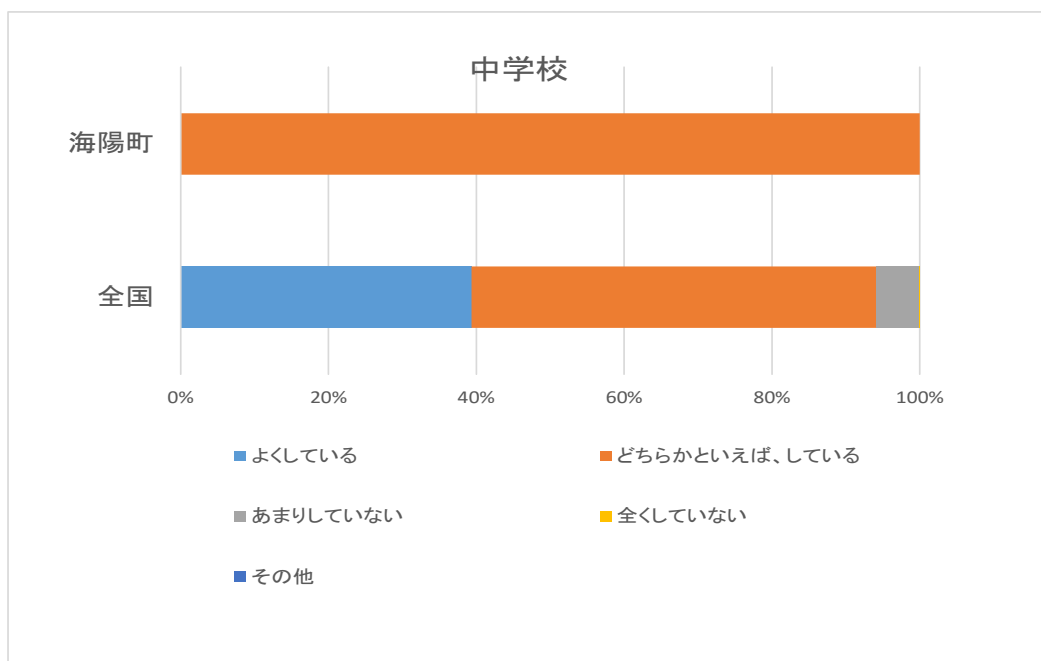


③カリキュラム・マネジメントに関する取組状況

◆小中学校共に学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫している

ア 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか





5. 児童生徒質問紙と学力のクロス分析

(1) 基本的な生活習慣等

【小学校】

○朝食を毎日食べる児童の方が教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

(2) 学習習慣、学習環境等

【小学校】【中学校】

○家にある本の冊数が多い児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる

(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

【小学校】【中学校】

○授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていると回答している児童生徒の方が教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

【小学校】

○5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと回答している児童の方が教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

【中学校】

○以下と回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

- ・ 1、2年生のときに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- ・ 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。
- ・ 学級の生徒との間で話し合う活動を通事通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

(4) 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳

【小学校】【中学校】

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

【小学校】

○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると回答した児童の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

(5) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）

【小学校】

○以下と回答している児童生徒の方が、国語の平均正答率が高い傾向が見られる。

- ・ 国語の勉強は大切である。
- ・ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。

【中学校】

○以下と回答している児童生徒の方が、国語の平均正答率が高い傾向が見られる。

- ・ 国語の授業の内容はよく分かる。
- ・ 国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえている。

(6) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）

【小学校】【中学校】

○算数・数学の授業はよく分かると回答している児童生徒の方が、算数・数学の平均正答率が高い傾向が見られる。

【小学校】

- 算数の勉強は好きであると回答している児童の方が、算数の平均正答率が高い傾向が見られる。
- 算数の勉強は大切だと思っていると回答している児童の方が、算数の平均正答率が高い傾向が見られる

【中学校】

- 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと回答している生徒の方が、数学の平均正答率が高い傾向が見られる

(7) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等 (英語)

【小学校】

- 英語の勉強は大切であると思っていると回答している児童の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られる。

【中学校】

- 以下と回答している生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られる。
 - ・英語の授業の内容はよく分かる。
 - ・英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。
 - ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。
 - ・1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。
 - ・1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。
 - ・1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。
 - ・1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。
 - ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。

(8) 各教科に関する調査の解答状況

国語

【小学校】【中学校】

- 今回の国語の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと回答している児童生徒の方が、国語の平均正答率が高い傾向が見られる。
- 今回の国語の解答時間は、十分だったと回答している児童生徒の方が、国語の平均正答率が高い傾向が見られる。

算数・数学

【小学校】【中学校】

○今回の算数・数学の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと回答している児童生徒の方が、算数・数学語の平均正答率が高い傾向が見られる。

英語

【中学校】

○今回の英語の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと回答している児童生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られる。

(9) 規範意識・自己有用感・幸福感等

【中学校】

○以下と回答している生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・人の役に立つ人間になりたい。

(10) 地域活動への参加状況

【小学校】

○地域や社会をよくするために何かしてみたいあると回答した児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

6. 学力向上に向けた今後の取組方針

(1) 教育環境の整備と拡充

- ア. 個に応じたきめ細かな指導のための町費教員の配置
- イ. グローバル人財育成のため、学校種間で連携した研修の実施など、小・中学校、高校の系統的な英語教育の指導体制の充実
- ウ. 特別な配慮を必要とする子どもへサポート体制や教育相談体制の充実
- エ. ICT教育の指導者の育成（家庭学習・オンライン学習を含めた1人1台端末の効果的な活用等による指導方法・指導体制の工夫改善）

(2) 教員の指導力向上と授業改善

- ア. 子どもたちが主体的に学べる授業づくり（ICT機器の効果的な活用）
- イ. 主体的、対話的な学習活動の充実（ICT機器の効果的な活用）
- ウ. 自己有用感や達成感を味わわせる活動の工夫
- エ. 県や関係機関主催研修の積極的活用

- オ. 町内校長会を通して最新の教育情報の提供
- (3) 就学前から学齢期の一貫した教育の推進
 - ア. 幼・小・中・高の縦・横の連携を活かしての交流学习の推進
 - イ. 町内園校長会（幼・小・中・高の園校長）による情報交換や情報共有
- (4) 家庭や地域との連携強化
 - ア. コミュニティ・スクールを生かした体験的・課題解決的な学習の充実
 - イ. 町や各種機関が実施している地域学習への参加
 - ウ. 規則正しい生活習慣の定着のための家庭への情報発信